

付表

自由無礙の俯瞰に向う観察主体(Ver4)

2024.1.23 作成 (定森恭司)

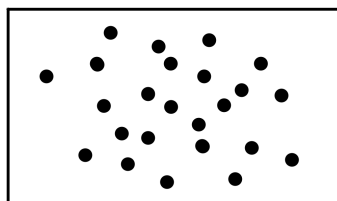
<第0段階>

- ・絶対無 (空)



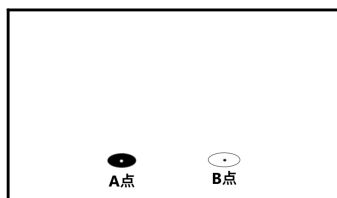
<第1段階>

- ・すべては、断片的な出来事の世界
- ・出来事を実感する主体もまだない



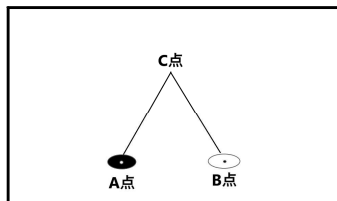
<第2段階>

- ・すべては内外融合的主体の実感による A 点 と B 点の出来事であり、自覚する観察主体はまだ成立していない



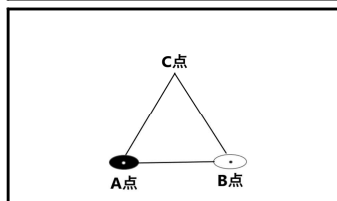
<第3段階>

- ・内外融合的外的現実主体が、観察主体となって A 点と B 点を実感・自覚しはじめるが A 点と B 点は、お互いに分裂・排除しあっていて、両者につながりがない



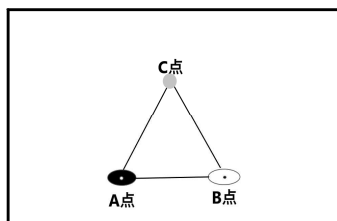
<第4段階>

- ・他律的外的現実主体が、A 点と B 点の行ったり・来たりを実感・自覚する観察主体となりはじめる



<第5段階>

- ・自律的外的現実主体が、人生が A 点と B 点の行ったり・来たりを避けることができないことの実感・自覚を深めていく観察主体となりはじめる



<第6段階>

- ・観察主体が、すべてがホロニカル関係にあり、かつ本来、絶対無 (空) からの創造された無自性の現象世界であることを実感・自覚する自由無礙の俯瞰の絶対的主体である「IT (それ)」に統合された段階 (真の自己の段階)。

